

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場はレアルが続伸。2.53台で取引が始まったドルレアルであるが、引き続きブラデスコ・アセット・マネジメントのトップを務めるLevy氏の次期財務相就任観測がレアル買いを誘発しており、一時2.50台を割れる局面も見られた。ルセフ大統領は財務相を含む新経済チームを本日午後3時(現地時間)に公表すると共に、新たな経済方針についても来週アナウンスを行う見通し。その他、Barbosa元財務次官は予算企画相、Tombini現中銀総裁は留任すると見られている。ボベスパ株式指数は前日比0.8%安。中国経済の減速と歩調を合わせる形で鉄鉱石価格の下落が続いており、Vale株が前日比4%安と急落したことが指数全体を押し下げた。

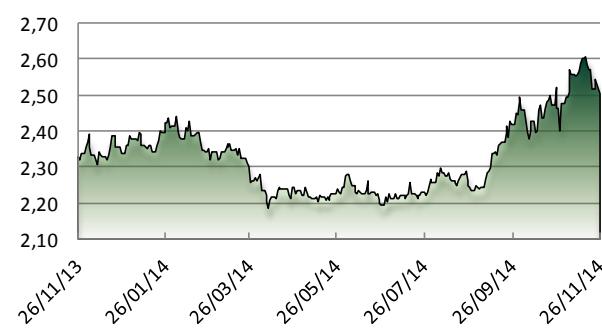
Levy氏の就任をマーケットが織り込み始めて以降、為替・株を中心にブラジル資産の買戻しが顕著となっており(21日にはボベスパ指数の上昇率が3年ぶりとなる5%を記録)、ルセフ再選を受けて悲観的な見方を維持していた投資家のポジション巻き戻しが進行しつつある。ターゲット上限値付近で高止まるインフレ率やプライマリーバランスの悪化、ペトロプラスを巡る汚職疑惑事件などブラジル経済を取り巻く環境はネガティブな要因が目立っているものの、少なくとも市場重視の姿勢で知られるLevy氏の財務相就任は好材料として短期的にブラジル資産の下支えに寄与すると見られる(但し、Levy氏が実際に市場重視の路線に政策転換する権限と独立性を保持できるかどうかは不透明である)。しかし、足許の経済指標を考慮すると、中長期的には再びレアル安のトレンドに回帰する可能性が高い。公表された10月中央政府のプライマリーバランスは41億レアルと半年ぶりの黒字を確保したものの、1~10月の累計値では赤字となっており、年間でも20年ぶりとなる赤字に陥る恐れが残っている。中銀は28日にも地方自治体も合わせた公的部門全体の財政収支を公表する予定であり、数字次第ではレアル売りに転じると予想される。

マーケットデータ

Indicator	Unit	11月25日	11月26日	前日比	10月24日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	46,62	47,07	+0,45	43,73	+3,34
USD / BRL Spot	BRL	2,5301	2,5015	-0,0286	2,4739	+0,0276
USD / JPY Spot	JPY	117,97	117,73	-0,24	108,16	+9,57
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	55.561	55.098	-463	51.941	+3.157
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	157,7	154,0	-3,7	165,2	-11,2
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,02	11,94	-0,08	12,08	-0,14
DI Future Jan16 (金利先物)	%	12,30	12,34	+0,04	11,92	+0,42
3 Months US Dollar Libor	%	0,236	0,236	+0,000	0,233	+0,003
CRB Index (国際商品指数)	Index	266,9	266,7	-0,2	270,2	-3,5

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

